

平成31年度 当初予算の概要

～ 新時代の礎づくり ～



暮らし満足NO.1のまち「中津」

中 津 市

【目次】

I. 平成31年度一般会計当初予算の概要	
1. 予算編成の基本方針	3
2. 予算総額	3
3. 主な歳入	4
4. 主要施策	4
5. 平成31年度一般会計当初予算の状況	5
(1) 歳入	
(2) 歳出	
6. 予算規模等の推移	8
II. 平成31年度施策別主要事業	
1. 安心づくり	11
2. 元気づくり	14
3. 未来づくり	16
III. 主要事業の詳細【新規・拡充分】	
1. 「災害は起こる」ことを前提とした防災対策の強化	19
①【新規】防災監視カメラ設置事業	
②【新規】馬溪橋周辺防災施設整備事業	
③【新規】ハザードマップ作成事業	
④【拡充】無線システム普及支援事業	
2. 子育て2.0プロジェクト	21
①【拡充】子ども医療費助成事業	
②【拡充】予防事業	
③【新規】病児保育事業	
④【新規】放課後児童健全育成事業(多子世帯助成金)	
3. 公民連携・政策連携によるにぎわいづくり	24
①【新規】小規模事業者キャッシュレス決済端末導入補助金	
②【新規】商店街にぎわいづくり支援事業補助金	
4. 働き方改革等による中小企業の人材確保と振興	25
①【拡充】創業セミナー事業	
②【拡充】女性起業家支援事業	
③【新規】外国人労働者受入支援事業	
④【新規】みんなにやさしい多言語化推進事業	
5. 子どもの可能性を拓げる教育	27
①【拡充】学びに向かう中津っ子支援事業	
②【拡充】学力向上学習補助員設置事業	
③【拡充】特別支援教育補助員設置事業	
④【新規】子どもまちづくりラボ事業	
⑤【拡充】小中学校パソコン導入事業	
6. 山国川の上下流域を結ぶ観光振興	29
①【新規】農家民泊推進事業・観光ガイド育成事業	
②【拡充】インバウンド対策事業	
③【新規】メープル耶馬サイクリングロード活性化事業	
④道の駅耶馬トピア整備事業	
7. 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり・「安心」で繋ぐ地域づくり	31
①【新規】生活困窮者及び被生活保護者就労支援事業	
②【拡充】手話・点字講習会等開催助成事業	
③【新規】ボランティア活動支援事業	
④【新規】障がい者芸術文化活動振興事業	
8. 看護師確保対策	33
9. ゴみの資源化推進	34
①【新規】草類資源化処理事業	
②【新規】リサイクル残渣・焼却残渣資源化処理事業	
10. 中津市歴史博物館運営事業・新中津市学校運営事業	35
11. 村上記念童心館運営事業	37

I . 平成31年度一般会計当初予算の概要

I. 平成31年度一般会計当初予算の概要

中津市総務部財政課
平成31年2月18日

1. 予算編成の基本方針

- ① 「安心・元気・未来プラン2017」を着実に実行し、「暮らし満足 No.1」に向けた基盤づくりの強化からさらなる施策の展開・深化を図る
- ② 「平成31年度中津市政推進の基本指針」を策定し、その方向性に基づく施策の立案
- ③ 「中津市行政サービス高度化プラン」に基づく事務事業の最適化
- ④ 「災害は起こる」ことを前提とした防災対策の強化

2. 予算総額

歳入面において市税が伸びるとともに、「暮らし満足 No.1」の向上・発展に向け、防災対策を中心に新規施策を積極的に展開

扶助費の通増のほか、子ども医療費の助成拡大や施設の長寿命化対策を進めることなどにより、過去最大予算を編成

当初予算額 42,048百万円（前年度比 +1,302百万円 +3.2%）

<参考> ㉔41,095 ㉕41,999 ㉖41,645 ㉗41,761 ㉘40,746

○人件費	7,684百万円	（前年度比 +213百万円 + 2.9%）
○公債費	5,224百万円	（前年度比 + 59百万円 + 1.1%）
○扶助費	9,958百万円	（前年度比 +176百万円 + 1.8%）

（ 児童措置費	2,968百万円	（前年度比 +130百万円 + 4.6%）
（ 障害者福祉費	1,991百万円	（前年度比 + 66百万円 + 3.4%）

○普通建設事業費 5,435百万円（前年度比 +175百万円 + 3.3%）

（ 補助事業費	2,082百万円	（前年度比 △ 357百万円 △14.6%）
（ 単独事業費	2,934百万円	（前年度比 + 471百万円 +19.1%）
（ 国直轄・県営	419百万円	（前年度比 + 61百万円 +17.0%）

3. 主な歳入

順調な企業誘致などを反映し市税は大幅な増額となり、地方交付税は合併特例措置の終了に伴い縮減はあるものの、地方財政対策での増額見込み等により前年度とほぼ同額

財政調整基金は「暮らし満足 No.1」の向上・発展に向けた新規・拡充施策等のため最大限活用

○市	税	11,044百万円	(前年度比 +414百万円 + 3.9%)
○地方譲与税等		2,379百万円	(前年度比 +227百万円 +10.5%)
○地方交付税		10,550百万円	(前年度比 + 24百万円 + 0.2%)
○臨時財政対策債		1,250百万円	(前年度比 △110百万円 △ 8.1%)
○財政調整基金繰入金		1,352百万円	(前年度比 +225百万円 +20.0%)

4. 主要施策

「安心・元気・未来プラン2017」を着実に実行し、「暮らし満足 No.1」に向けたさらなる施策の展開・深化を図るため「平成31年度中津市政推進の基本指針」を策定。その方向性に基づき、事業の新規立案及び拡充を行う。

平成31年度 中津市政推進の基本指針

【安心づくり】

- ・災害に強いまち・災害に強い地域づくり
- ・中津市版包括ケアシステムの構築
- ・データに基づく健康づくり
- ・広域的な予防医療の取り組み
- ・子育て 2.0 のまちづくり
- ・誰もが生き生きと暮らせるまちづくり
- ・「安心」で繋ぐ地域づくり
- ・地域の拠点施設の確保

「暮らし満足」に向けたさらなる施策の展開・深化

【元気づくり】

- ・働き方改革による中小企業の人材確保と振興
- ・企業立地の促進と生産性向上への支援
- ・一次産業における担い手育成と収益性向上
- ・山国川上下流域を結ぶ観光振興
- ・地域が主体となった移住支援
- ・公民連携・政策連携によるにぎわいづくり
- ・「ふれあい」「親しむ」文化・スポーツ環境

【未来づくり】

- ・子どもの可能性を拓ける教育
- ・地域で活躍する人材の育成
- ・地域の拠点施設の確保(再掲)
- ・「環境共生都市なかつ」の推進
- ・「命」を守り「くらし」を支える高速交通網の整備
- ・公共交通対策の新たな枠組みの検討
- ・中津市街地における「学び」と「交流」を生むまちづくり

新規事業 : 33事業

拡充事業 : 26事業

安心づくり

新規事業	: 15事業
拡充事業	: 11事業

元気づくり

新規事業	: 12事業
拡充事業	: 7事業

未来づくり

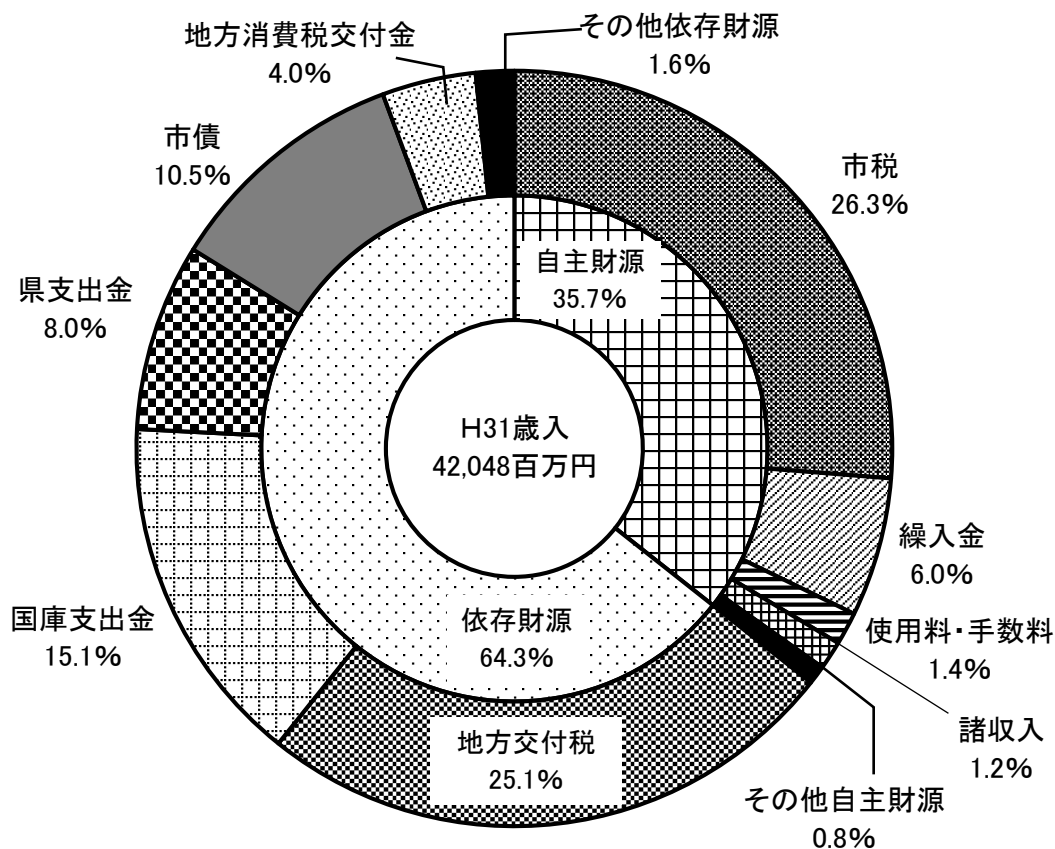
新規事業	: 6事業
拡充事業	: 8事業

5. 平成31年度一般会計当初予算の状況

(1) 歳入

(千円、%)

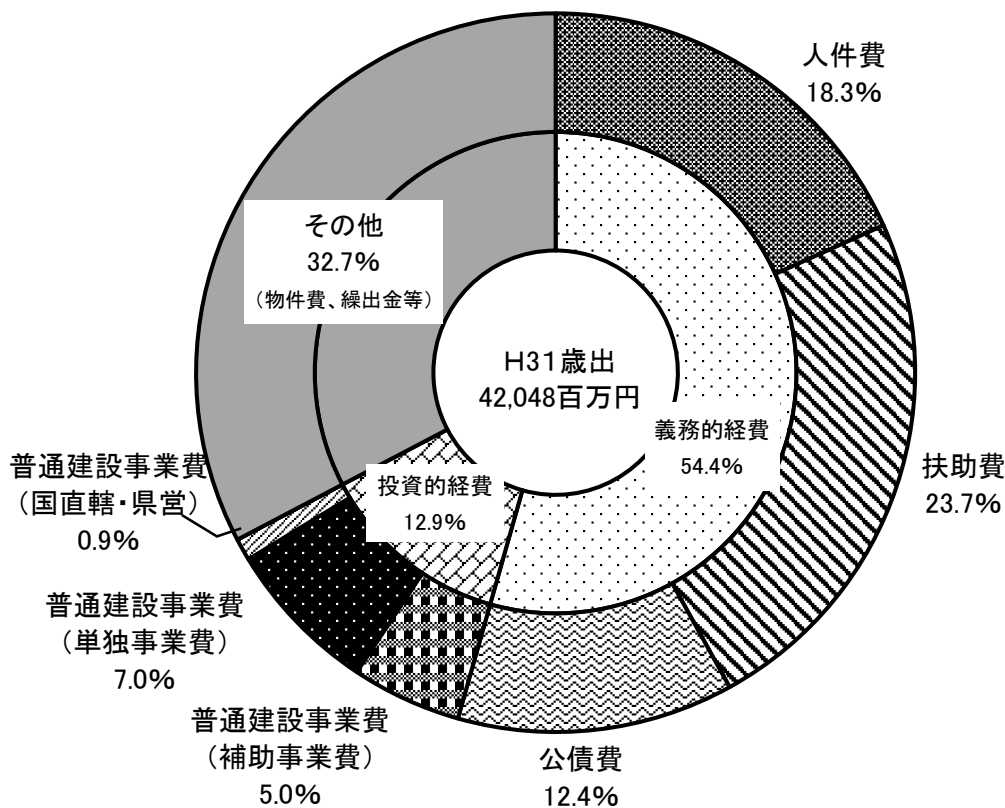
区分	平成31年度		平成30年度		増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)	
	予算額(A)	構成比	予算額(B)	構成比			
自主財源	市税	11,043,792	26.3	10,630,471	26.1	413,321	3.9
	分担金及び負担金	166,197	0.4	297,465	0.7	△ 131,268	△ 44.1
	使用料及び手数料	589,837	1.4	640,134	1.6	△ 50,297	△ 7.9
	財産収入	67,377	0.2	82,533	0.2	△ 15,156	△ 18.4
	寄附金	103,302	0.2	43,302	0.1	60,000	138.6
	繰入金	2,502,018	6.0	2,147,165	5.3	354,853	16.5
	繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
	諸収入	514,566	1.2	478,805	1.2	35,761	7.5
小計	14,987,090	35.7	14,319,876	35.2	667,214	4.7	
依存財源	地方譲与税	333,439	0.8	293,200	0.7	40,239	13.7
	利子割交付金	11,881	0.0	14,854	0.0	△ 2,973	△ 20.0
	配当割交付金	35,004	0.1	31,635	0.1	3,369	10.6
	株式等譲渡所得割交付金	27,580	0.1	28,170	0.1	△ 590	△ 2.1
	地方消費税交付金	1,690,203	4.0	1,639,275	4.0	50,928	3.1
	ゴルフ場利用税交付金	7,310	0.0	6,811	0.0	499	7.3
	自動車取得税交付金	31,242	0.1	58,727	0.1	△ 27,485	△ 46.8
	自動税環境性能割交付金	13,743	0.0	0	0.0	13,743	皆増
	地方特例交付金	213,483	0.5	64,551	0.2	148,932	230.7
	地方交付税	10,550,000	25.1	10,525,964	25.8	24,036	0.2
	交通安全対策特別交付金	14,671	0.0	14,671	0.0	0	0.0
	国庫支出金	6,343,544	15.1	6,511,274	16.0	△ 167,730	△ 2.6
	県支出金	3,367,412	8.0	3,047,251	7.5	320,161	10.5
市債	4,421,000	10.5	4,189,800	10.3	231,200	5.5	
小計	27,060,512	64.3	26,426,183	64.8	634,329	2.4	
合計	42,047,602	100.0	40,746,059	100.0	1,301,543	3.2	



(2) 歳出
 <性質別>

(千円、%)

区 分	平成31年度		平成30年度		増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)
	予算額(A)	構成比	予算額(B)	構成比		
義務的経費	22,866,556	54.4	22,417,586	55.0	448,970	2.0
人件費	7,684,463	18.3	7,470,897	18.3	213,566	2.9
扶助費(※1)	9,958,300	23.7	9,782,382	24.0	175,918	1.8
公債費	5,223,793	12.4	5,164,307	12.7	59,486	1.2
投資的経費	5,434,634	12.9	5,259,059	12.9	175,575	3.3
普通建設事業費(※2)	5,434,630	12.9	5,259,055	12.9	175,575	3.3
補助事業費	2,081,655	5.0	2,438,650	6.0	△ 356,995	△ 14.6
単独事業費	2,933,721	7.0	2,462,690	6.0	471,031	19.1
国直轄・県営事業	419,254	0.9	357,715	0.9	61,539	17.2
災害復旧事業費	4	0.0	4	0.0	0	0.0
その他	13,746,412	32.7	13,069,414	32.1	676,998	5.2
合 計	42,047,602	100.0	40,746,059	100.0	1,301,543	3.2



※1 扶助費の主な増減

(千円) ※2 普通建設事業費の主な増減

事業名	H31予算額	対前年
私立保育所・認定こども園等運営費	2,916,949	113,873
障害福祉サービス等給付費	1,734,668	69,592
障害児通所給付費	180,116	21,609
生活保護扶助費	1,818,408	△ 162,488
子ども医療費	337,063	104,021

事業名	H31予算額	対前年
保育所・認定こども園施設整備事業	353,401	353,401
鶴居小学校施設長寿命化事業	128,300	128,300
豊陽中学校施設大規模改造事業	122,311	122,311
三沢住宅建替事業	0	△ 212,181
中津市歴史博物館建設事業	0	△ 534,218
新中津市学校改修事業	0	△ 111,576
防災監視カメラ設置事業	257,000	257,000
道の駅耶馬トピア整備事業	124,278	87,505
和田コミュニティセンター建設事業	269,258	244,018

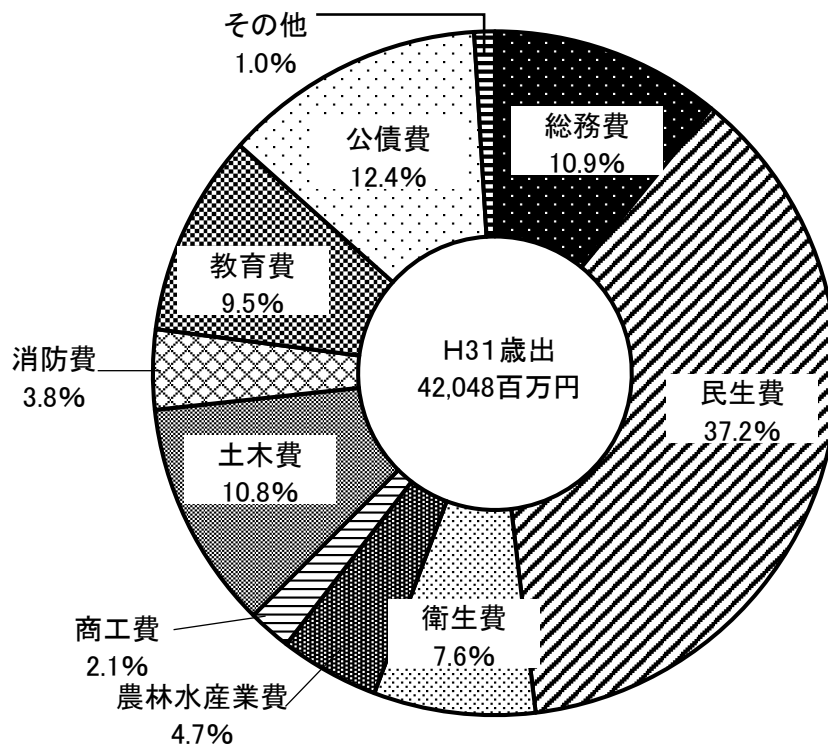
(2)歳出

<目的別>

(千円、%)

区 分	平成31年度		平成30年度		増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)
	予算額(A)	構成比	予算額(B)	構成比		
1. 議会費	274,723	0.7	288,791	0.7	△ 14,068	△ 4.9
2. 総務費(※1)	4,579,326	10.9	4,048,696	9.9	530,630	13.1
3. 民生費	15,644,817	37.2	15,157,715	37.2	487,102	3.2
4. 衛生費	3,212,392	7.6	3,128,532	7.7	83,860	2.7
5. 労働費	34,671	0.1	32,503	0.1	2,168	6.7
6. 農林水産業費	1,974,776	4.7	1,964,998	4.8	9,778	0.5
7. 商工費(※2)	859,439	2.1	761,744	1.9	97,695	12.8
8. 土木費(※3)	4,546,199	10.8	4,967,546	12.2	△ 421,347	△ 8.5
9. 消防費(※4)	1,585,450	3.8	1,159,814	2.9	425,636	36.7
10. 教育費	4,011,874	9.5	3,971,085	9.7	40,789	1.0
11. 災害復旧費	4	0.0	4	0.0	0	0.0
12. 公債費	5,223,929	12.4	5,164,629	12.7	59,300	1.1
13. 諸支出金	2	0.0	2	0.0	0	0.0
14. 予備費	100,000	0.2	100,000	0.2	0	0.0
合 計	42,047,602	100.0	40,746,059	100.0	1,301,543	3.2

(消防費については、平成31年度より災害対策費(388,965千円)が総務費から移行しています。)



※1 総務費の主な増減

(千円)

事業名	H31予算額	対前年
選挙事業(知事県議会、市議会、参議院、市長、)	177,181	143,965
公共施設等整備基金積立金	118,030	118,030
本庁舎整備事業	40,989	40,989

※3 土木費の主な増減

(千円)

事業名	H31予算額	対前年
道路橋りょう新設改良費(社会资本整備事業)	481,030	△ 234,470
道路整備事業(都市再生整備計画事業)	0	△ 178,469
住宅建設改良事業	248,630	△ 57,107

※2 商工費の主な増減

(千円)

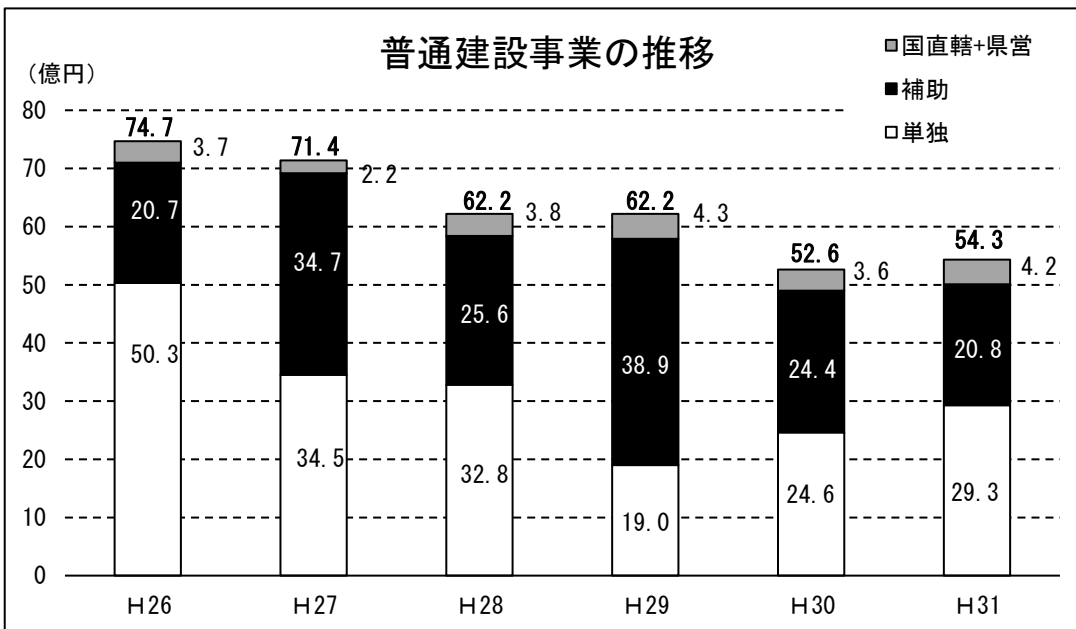
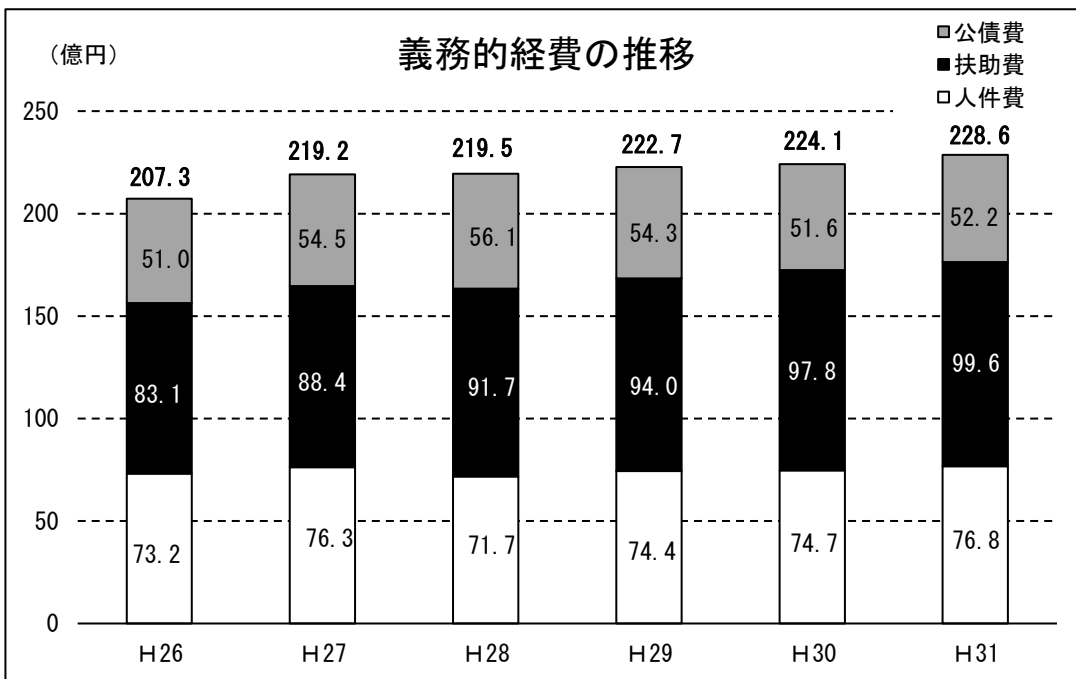
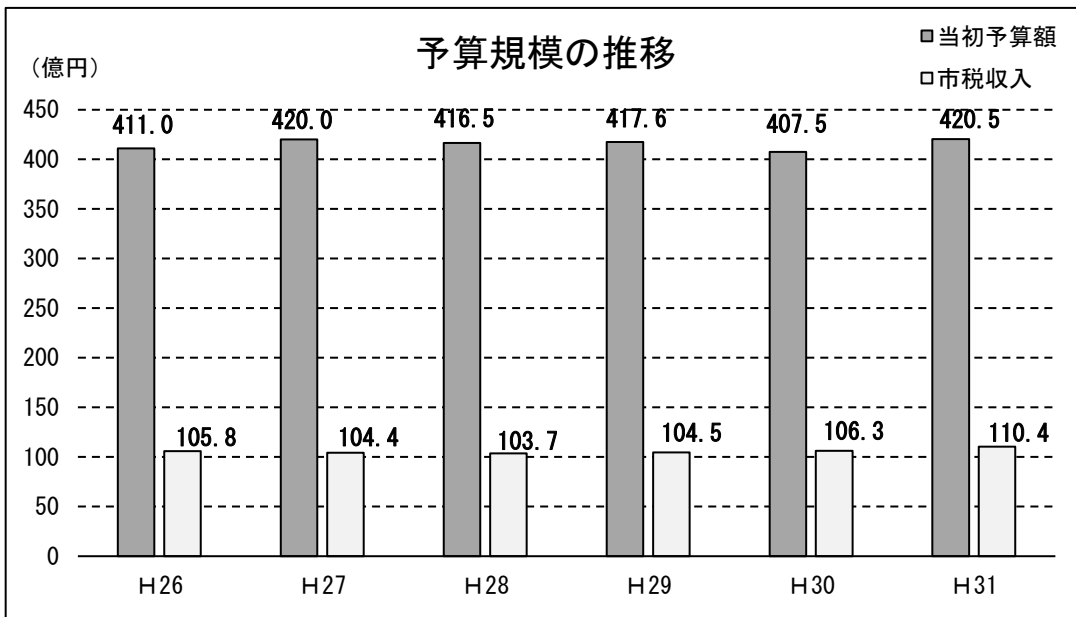
事業名	H31予算額	対前年
道の駅耶馬トピア整備事業	124,278	87,505
企業立地促進助成金	193,413	56,892
馬溪橋周辺整備事業	6,083	△ 27,746

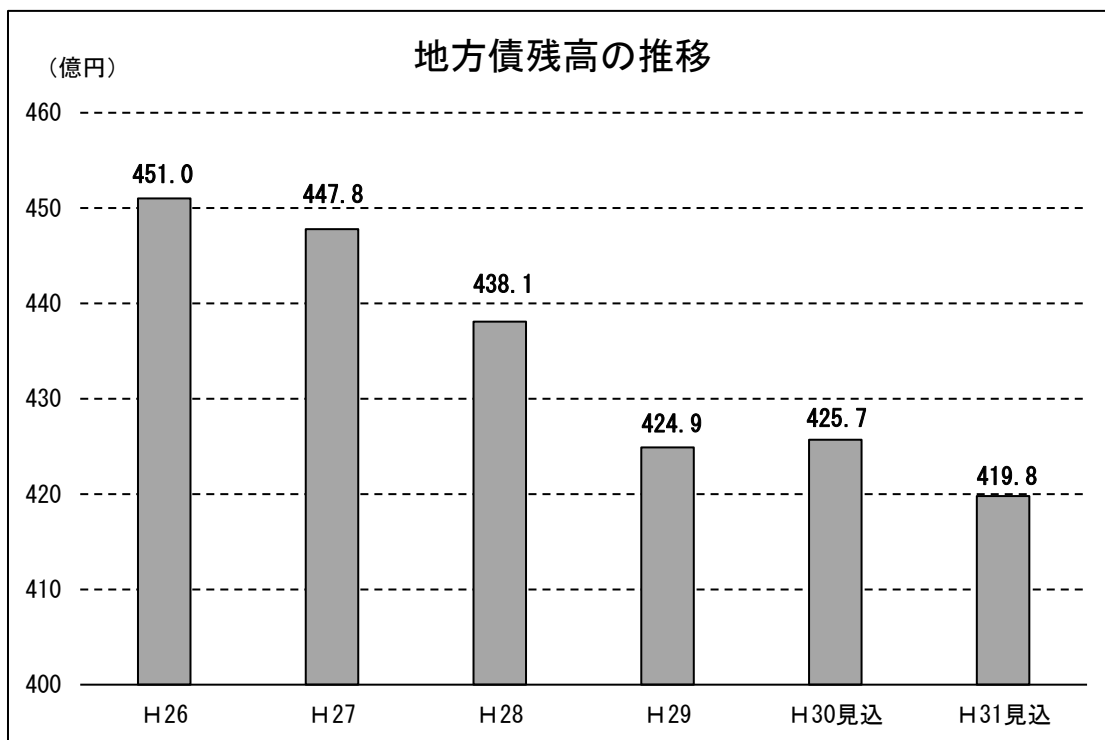
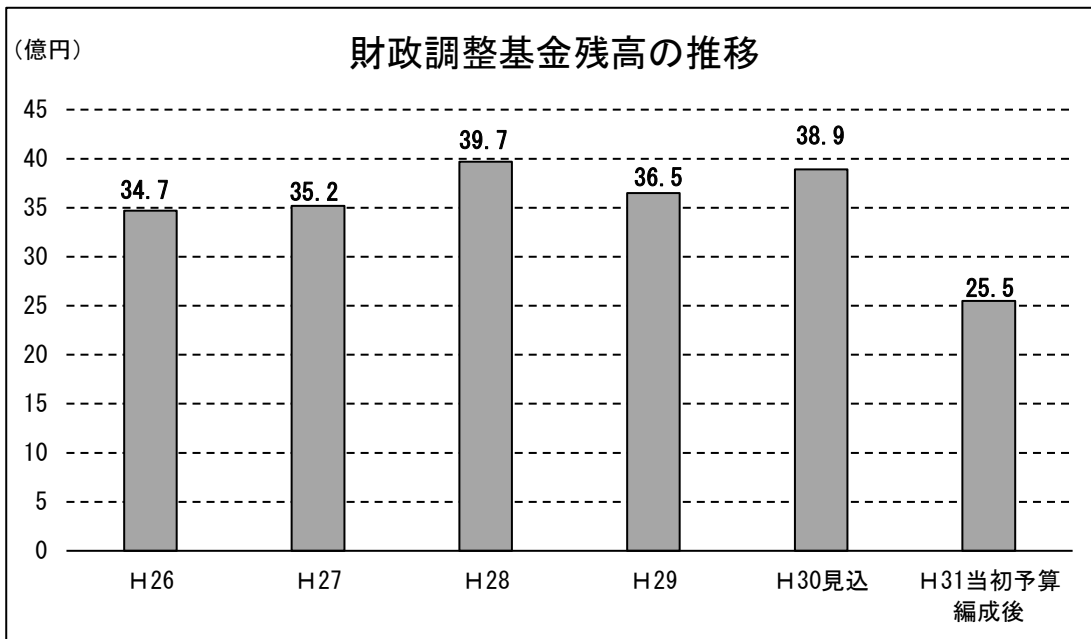
※4 消防費の主な増減

(千円)

事業名	H31予算額	対前年
防災監視カメラ設置事業	257,000	257,000
非常備消防施設整備事業	124,421	69,746
排水施設管理事業(排水ポンプ設置管理)	35,609	12,149

6. 予算規模等の推移





※ H30年度及びH31年度の地方債残高については、予算額ベースの残高であるため、決算額(実際の残高)は標記の数値から減少する見込みです。

Ⅱ. 平成31年度施策別主要事業

平成31年度施策別主要事業

3年目を迎える「安心・元気・未来プラン2017」を引き続き着実に推進し、これまで進めてきた「暮らし満足No.1」に向けた基盤づくりからさらに施策の展開・深化を図ります。

そこで、「中津市政推進の基本指針」に沿った施策を積極的かつバランスよく展開し、「平成」の次の新しい時代のスタートに誰もが夢と希望を持ち、将来に亘って満足を実感し得るまちづくりを進めるため

～ 新時代の礎づくり ～

をテーマとしてまとめました。

1. 安心づくり

●災害に強いまち・災害に強い地域づくり

◇【新規】防災監視カメラ設置事業〔2億5,700万円〕

※旧下毛地域の河川、ため池等危険箇所監視カメラを24箇所設置します。本庁、支所及び情報プラザにモニター設置のほか、防災ポータルサイト及び中津市ケーブルネットワークにて視聴することができ、状況把握や防災対策に活用します。



(防災倉庫)

◇【新規】馬溪橋周辺防災施設整備事業〔4,868万円〕

※H24九州北部豪雨により甚大な被害を受けた耶馬溪町馬溪橋周辺に、防災拠点として迅速な対応ができるよう防災倉庫等を整備します。

◇無線システム普及事業〔583万円〕

◇防災マップ作成事業〔553万円〕

※防災マップを現状に合わせて更新し市内全戸に配布します。

◇自主防災組織活動事業費補助金〔300万円〕



(前回の防災マップ)

●中津市版地域包括ケアシステムの構築

◇地域包括支援センターの充実

・総合相談事業〔6,114万円〕…《介護保険事業特別会計》

・権利擁護事業〔1,248万円〕…《介護保険事業特別会計》

・包括的・継続的ケアマネジメント支援事業〔1,248万円〕

…《介護保険事業特別会計》

◇在宅医療・介護連携推進事業〔1,692万円〕…《介護保険事業特別会計》

◇生活支援体制整備〔1,672万円〕…《介護保険事業特別会計》

◇認知症カフェ運営補助金〔9万円〕…《介護保険事業特別会計》

※認知症カフェ（オレンジカフェ）を開設する法人・団体に対して運営費の一部を補助します。

◇【拡充】元気！いきいき☆週一体操事業〔892万円〕

…《介護保険事業特別会計》

※現時点で32団体が立上げ済み。平成31年度はさらに10団体の立上げを目標に取り組みます。



(週一体操の様子)

●データに基づく健康づくり

- ◇医療ナビ事業〔47万円〕
- ◇健康増進事業（がん検診等）〔7,285万円〕
- ◇【新規】予防事業（風しん抗体検査及び予防接種事業）〔2,374万円〕
※39歳～56歳男性に対し、抗体検査及び検査後の抗体未保有者への予防接種の助成を行います。

●広域的な予防医療の取り組み

- ◇【拡充】子どものインフルエンザ予防接種事業〔1,417万円〕
※子どものインフルエンザ予防接種の助成を1千円から2千円に拡充します。
- ◇【拡充】子どものロタ・ムンプス予防接種事業〔1,930万円〕
※1歳代の幼児を対象としたムンプスウィルス（おたふくかぜ）ワクチンの接種を、就学前の子どもも対象とし拡充します。



●子育て2.0のまちづくり

- ◇こんにちは赤ちゃん訪問事業〔258万円〕
- ◇新生児聴覚検査事業〔254万円〕
- ◇子育て世代包括支援センター事業〔257万円〕
- ◇【拡充】子ども医療費助成事業〔3億3,706万円〕
※7月から小・中学生の通院費の助成を開始します。
- ◇【新規】病児保育事業〔1,666万円〕
※中津で最初の病児保育施設が、4月より、のまさ小児科にて開設します。
- ◇【拡充】子育てほっとクーポン活用事業〔855万円〕
※子育て支援サービスの利用等に対し助成します。

- ◇【拡充】私立保育所等運営事業費〔30億787万円〕

※10月からの幼児教育無償化に対応するものです。無償化の対象となる保育料等を公費負担としています。

- ◇一時預かり事業〔3,742万円〕

- ◇中津にこにこ保育支援事業〔1,323万円〕
- ◇延長保育事業〔1,804万円〕
- ◇ファミリー・サポート・センター事業〔226万円〕
- ◇ひとり親家庭医療助成事業〔6,505万円〕
- ◇母子家庭自立支援給付事業〔1,242万円〕
- ◇【新規】養育支援強化事業〔20万円〕



※産後うつ等により児童の養育が困難な場合に、一時的に児童を預かり、養育者の一時的な休息を図ります。

- ◇子どもの居場所機能強化事業〔61万円〕

※保護者の帰宅が遅く夕方の「子どもの居場所」や「食事」に困っている家庭を支援するため「学習支援」や「食事の提供（子ども食堂）」を行う民間団体に対して、その開設や機能強化等に要する費用を助成します。

- ◇放課後児童健全育成事業〔2億1,452万円〕

- ◇放課後児童健全育成事業（長期休業期間）〔5,859万円〕

- ◇【新規】放課後児童健全育成事業（多子世帯助成金）
〔554万円〕

※放課後児童クラブに通う多子世帯の保護者に対し助成金を交付します。



（放課後児童クラブの様子）

- ◇子どもいきいきプレイルーム運営事業〔1,960万円〕
- ◇【新規】村上記念童心館運営事業〔1,799万円〕

●誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

◇中津市障がい者等基幹相談支援センター設置事業〔2,853万円〕

◇【新規】生活困窮者就労準備支援事業〔1,072万円〕

◇【新規】被保護者就労支援事業〔235万円〕

※生活困窮者、被保護者への就労支援のため、相談窓口を設置します。

◇【拡充】手話・点字講習会等助成事業〔165万円〕

※ボランティア人材の確保・育成を目的に、講習会等の開催を拡充します。

◇【新規】ボランティア団体活動支援事業〔49万円〕

※コミュニケーション支援員の育成を目的に、手話や要約筆記、音訳、点訳等を行うボランティア団体の活動に対し補助します。

◇【新規】芸術文化活動振興事業〔19万円〕

※平成30年度に大分県で開催された「全国障がい者芸術・文化祭」にて行われた障がい者アート作品展、障がい者ふれあいコンサート等を本年度も引き続き実施します。

◇【拡充】高齢者の生きがいと健康づくり推進事業〔227万円〕

◇高齢者の免許証自主返納支援事業〔257万円〕

※70歳以上の運転免許証自主返納者に対して1万円相当の交通チケットを交付します。

●「安心」で繋ぐ地域づくり

◇【拡充】田舎困りごとサポート事業〔3,676万円〕

※田舎困りごとサポーターを各支所2名体制から3名体制とし、地域住民へのサービスを充実させます。

◇ひとり暮らし老人愛の訪問事業〔997万円〕

◇住民型有償サービス立上・運営補助金〔110万円〕

◇地域福祉活動（サロン）施設整備事業補助金〔250万円〕



（田舎困りごとサポート事業）

◇【新規】地域力強化推進事業〔1,074万円〕

◇買い物支援（山国地区みんなのお店）事業〔1,914万円〕

《その他「なかつ安心・元気・未来プラン2017」に沿った主要施策》

●地域医療の確立

◇小児救急センター休日夜間診療業務支援事業〔2,483万円〕

◇不妊治療助成事業〔900万円〕

◇【拡充】子どもフッ化物洗口事業〔279万円〕

※平成31年度より市内小学校に加え、市立幼稚園、中学校にて実施します。

◇【拡充】中津市民病院に勤務する医師に対する研修等助成事業〔1,200万円〕

◇【新規】看護師確保対策事業〔300万円〕

※市内病院の看護師不足解消を目的に、市内唯一の看護師養成機関である中津ファビオラ看護学校へ入学し、市内病院へ勤務する学生に対して、入学金の一部を補助します。

●障害の有無に関わらず暮らしやすいまちづくり

◇障害福祉サービス等給付事業〔17億3,467万円〕

◇障害者自立支援医療給付事業〔1億8,567万円〕

◇障害児通所給付事業〔1億8,012万円〕

●地域の拠点施設の確保

◇【新規】三光公民館整備事業〔834万円〕

※老朽化した三光公民館の整備を、防災機能の向上やコミュニティの維持活性化のために地域の拠点施設として「公共施設管理プラン」の方針に沿って整備を行います。

◇【新規】西谷地区公民館整備事業〔353万円〕

※本耶馬溪西谷地区公民館は、旧西谷小学校の校舎及び体育館を利用し、生涯学習・文化・地域活動等を行う交流の場となっておりますが、老朽化が激しいため、整備を行います。防災施設としての機能も向上させます。

2. 元気づくり

●働き方改革等による中小企業の人材確保と振興

- ◇人材バンク就職支援事業〔329万円〕
- ◇中山間地域創業支援事業〔300万円〕
- ◇勤労者資格取得支援事業〔50万円〕
- ◇【**拡充**】女性起業家支援事業〔101万円〕
※女性の起業を支援するため、セミナーを開催します。平成31年度は、セミナーの回数を4回から7回に増やし、また、キックオフイベントを実施するなど内容を拡充します。



(女性起業家セミナーの様子)

- ◇【**拡充**】創業セミナー事業〔80万円〕
※創業者の創出や支援情報の提供を目的としてセミナーを開催します。平成31年度はセミナーの回数を4回から7回に増やし、また、先輩起業家のトークセッションを行うなど内容を拡充します。



(創業セミナーの様子)

- ◇【**拡充**】企業合同就職説明会等開催事業〔242万円〕
※人材確保を望む企業を支援するため、就職説明会を開催します。平成31年度は、新たに学生向け説明会を拡充します。
- ◇【**新規**】外国人労働者受入支援事業〔29万円〕
※近年、中津市の在留外国人は急激に増加しており、特にベトナム人実習生が増加傾向にあります。ベトナム人向け日本語教室等を開催することにより、実習生を受け入れている事業所の支援を行います。
- ◇【**新規**】小規模事業者キャッシュレス決済端末導入補助事業〔150万円〕
※ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピックに向けて増加する海外からの観光客の消費喚起を図るため、飲食店や小売業等の小規模事業者におけるカード・電子マネー等の決済端末機の整備に対し補助します。
- ◇【**新規**】みんなにやさしい多言語化推進事業〔50万円〕
※増加する在留・訪日外国人に向けて、市政情報をダイレクトに伝えるため、多言語に翻訳できる情報発信ツールを導入します。

●企業立地の促進と生産性向上への支援

- ◇企業立地促進助成金〔1億9,341万円〕

●一次産業における担い手育成と収益性向上

- ◇【**新規**】畑地化推進事業〔320万円〕
※小規模農業者の農産物直売所向け野菜の作付けを拡大し、農家所得向上を目的に、ミニハウス施設の導入を支援します。



(農産物直売所の様子)

- ◇なかつ6次産業創生事業〔1,715万円〕
- ◇【**新規**】企業等農業参入推進事業〔330万円〕
※市内の法人等が異業種から新規に農業参入し、経営改善・発展に取り組む場合に、農業用機械等の導入を支援します。
- ◇市産材利用住宅促進事業〔3,000万円〕
- ◇水産物ブランド化・販路拡大事業補助金〔80万円〕



(水産物販路拡大)

●山国川上下流域を結ぶ観光振興

◇観光宣伝活動事業〔3,207万円〕

◇観光宣伝活動事業（耶馬溪観光室）〔172万円〕

・【新規】観光ガイド育成事業〔48万円〕

※観光ガイドの育成やレベルアップを目的に研修会を開催します。

・【新規】農村民泊推進事業〔14万円〕

※体験型観光の推進を目的に、旧下毛地域での農村民泊を推進します。



（農村民泊の様子）

◇メイプル耶馬サイクリングロード活性化事業〔597万円〕

・サイクリングイベント（災害復旧完成）〔86万円〕 など

◇【拡充】インバウンド対策〔1,058万円〕

※ラクビーワールドカップ大分大会開催にあわせたインバウンド対策を強化します。パワーブロガーの招聘やSNSでの広告の展開を強化します。

◇【新規】小規模事業者キャッシュレス決済端末導入補助事業〔150万円〕（再掲）

◇道の駅耶馬トピア整備事業〔1億2,428万円〕

※中津日田高規格道路青の洞門・羅漢寺インターの完成に向けて、道の駅耶馬トピアの駐車場整備及びレンタサイクル施設の整備などを行います。

◇八面山展望デッキ設置事業〔2,926万円〕

※八面山からの夜景は日本夜景遺産に認定されています。その観光資源を活用するために、山頂付近の天空の道に展望デッキを設置し観光誘客を図ります。

●地域が主体となった移住支援

◇【拡充】移住・定住支援事業〔934万円〕



※移住・定住を促進するため、空き家の改修や家財処分等の支援を行います。

平成31年度より、旧下毛地域だけでなく旧中津市へのUターン者が行う住居（実家等）の改修についても支援を行うこととし拡充しました。

◇テレワーク等推進事業〔264万円〕

●公民連携・政策連携によるにぎわいづくり

◇【新規】商店街にぎわいづくり支援事業〔150万円〕

※商店街が自ら考え、実践する活性化イベントの取り組みを支援します。

◇商店街空き店舗活用事業〔200万円〕

◇域外消費型商店街推進支援事業〔400万円〕

◇生活支援型商店街機能強化事業〔200万円〕

◇【新規】小規模事業者キャッシュレス決済端末導入補助事業〔150万円〕（再掲）



（商店街のにぎわいづくり）

●「ふれあい」「親しむ」文化・スポーツ環境

◇【拡充】東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致事業

（体育協会補助金）〔1,407万円〕

※パラバドミントンなどのキャンプ地誘致活動に取り組むほか、ホストタウンとしてオリンピック等による講演会・スポーツ教室を開催し機運の醸成を図ります。

◇日本遺産推進事業〔1,732万円〕

※日本遺産（やばけい遊覧～大地に描いた山水絵巻の道を行く～）関連事業です。平成31年度は3年目を迎え、今までの活動の集大成として、文化財の活用、観光の振興を含む地域活性化に積極的に取り組みます。

◇【新規】芸術文化活動振興事業〔19万円〕（再掲）

◇【新規】中津市歴史博物館運営事業〔5,096万円〕

3. 未来づくり

●子どもの可能性を拡げる教育

- ◇【**拡充**】スクールソーシャルワーカー設置事業〔1,018万円〕

※現在4名が配置されていますが6名に増員します。

- ◇【**拡充**】スクールカウンセラー設置事業〔158万円〕

- ◇小1プロブレム対策推進事業〔46万円〕

- ◇【**拡充**】学力向上学習補助員設置事業〔2,811万円〕

※個別指導及び複式学級一部解消に向け、学力向上学習補助員を6名増員します。(14名→20名)

- ◇【**拡充**】特別支援教育補助員設置事業〔7,748万円〕

※幼稚園の長期休業中(預かり保育)に特別支援教育補助員を設置します。

- ◇【**拡充**】小中学校パソコン導入事業〔1億4,030万円〕

※児童生徒の情報活用能力を育成するため、小中学校にタブレットを導入します。

- ◇【**拡充**】学びに向かう中津っ子支援事業〔1,044万円〕

※授業で学習したことを活用する学びにチャレンジすることによって、知識・技能の習得や、未知の状況に対応する思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養を目指します。

- ・【**新規**】APUでのイングリッシュキャンプに参加
- ・【**新規**】中学生の英語教育に「GTEC検定」を導入
- ・ジュニアグローバルリーダー(短期留学) など



(小中学校タブレット導入)



(APUの学生との交流会の様子)

- ◇授業改善支援事業〔199万円〕

※教職員の指導力向上のための研修会開催や先進地視察を行います。

- ◇特色ある学校づくり補助金〔352万円〕

- ◇図書活動推進事業〔5,022千円〕

●地域で活躍する人材の育成

- ◇【**拡充**】大学連携推進事業〔64万円〕

※大学等が中津市内で行う調査研究活動に対して補助します。平成30年度は当初の見込みを上回る実績が見込まれるため、増額して予算措置しています。

- ◇山国っ子育成事業〔65万円〕

- ◇【**新規**】新中津市学校運営事業〔3,003万円〕

●「環境共生都市なかつ」の推進

- ◇【**新規**】リサイクル推進事業(草類資源化処理)〔489万円〕

※ごみの資源化率20.8%を目指し、草類を焼却処分ではなく再資源化(堆肥化)を進めます。

- ◇【**新規**】リサイクル残渣・焼却残渣資源化事業〔2,297万円〕

※埋立処分場の延命化のため、リサイクル残渣・炉底残渣を埋め立てるのではなく、セメントの資源としてリサイクルします。

- ◇「きれいなまち中津」事業〔102万円〕

- ◇ベッコウトンボ保護事業〔76万円〕

- ◇中津干潟調査保全事業〔70万円〕

●「命」を守り「暮らし」を支える高速交通網の整備

- ◇下池永西大新田線道路改良事業〔7,550万円〕

- ◇庄屋村線(記念橋)橋りょう整備事業〔8,226万円〕

- ◇宮永角木街路事業〔1億3,500万円〕



●公共交通対策の新たな枠組みの検討

◇【拡充】コミュニティバス運行事業〔5,630万円〕

※民間が運行している路線バス深秣線の一部が廃止される予定です。公共交通空白地にならないために、上秣から小川内区間に乗合タクシーを運行します。



(コミュニティバス)

◇地方バス路線維持事業〔5,018万円〕

●中心市街地における「学び」と「交流」を生むまちづくり

◇【新規】中津市歴史博物館運営事業〔5,096万円〕

※中津市の文化財の保存や活用を目的とした施設です。企画展や体験学習を開催するほか、中津城や福澤記念館等の周辺施設と連携し市内観光の拠点としても活用します。

◇【新規】新中津市学校運営事業〔3,003万円〕

※市民の仕事や学習など多様な教育の場を提供する施設です。また、福澤諭吉や小幡篤次郎ゆかりの地として慶應義塾大学との連携を強化し、「学びたい教育のまち中津」の人的・文化的拠点とします。

◇【新規】村上記念童心館運営事業〔1,799万円〕

※乳幼児から高校生世代までを対象に、健全な遊びの場を提供し、子どもたちの健全育成を図るための拠点施設です。また、市の直営で、ダンスルームや音楽スタジオ等を設置し、誰もが行きたくなる児童館を目指します。



(中津市歴史博物館)



(新中津市学校)



(村上記念童心館)

Ⅲ. 主要事業の詳細【新規・拡充分】

施策(事業)名	「災害は起こる」ことを前提とした防災対策の強化
市政推進の基本指針	【安心づくり】 災害に強いまち・災害に強い地域づくり

【事業の背景・目的】

近年全国各地で大規模な災害が発生しており、中津市においても毎年のように様々な災害が発生しています。

このような災害に対し、住民自らが日頃から自助の取り組みを進めるとともに、「災害は起こる」ことを前提とした防災対策を強化し、住民への更なる啓発や情報提供を進めるため、次の事業に取り組むこととします。

①【新規】防災監視カメラ設置事業

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
257,000				257,000		0

【事業の概要】

洪水時に、河川が氾濫する危険性の高い場所等に監視カメラを設置し、本庁、支所及びなかつ情報プラザに設置するモニターで河川監視を行うシステムを整備します。

また、市民に対しては、監視カメラの映像は中津市ケーブルネットワーク及び防災ポータルサイトに配信します。

※カメラ設置箇所(予定)

三光地区6箇所 本耶馬溪地区7箇所 耶馬溪地区6箇所 山国地区5箇所 計24箇所

【期待される効果】

監視カメラを設置し、本庁及び支所においてリアルタイム映像を監視することで、迅速な避難勧告等の発令に繋がります。

また、市民向けにリアルタイム映像を配信し、情報提供することで、減災に繋がります。



(監視カメラシステムのイメージ)

②【新規】馬溪橋周辺防災施設整備事業

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
48,680				48,600		80

【事業の概要】

耶馬溪町の馬溪橋周辺は、平成24年の九州北部豪雨災害にて山国川が氾濫し、甚大な被害を受けました。そのため、防災対策として山国川右岸側の戸原地区に消防団詰所兼防災倉庫、左岸側の平田地区に防災倉庫を設置し、洪水時における資機材の配備を行います。

【主な事業費】

- ・ 平田地区防災倉庫設置 11,677千円
- ・ 戸原地区(第4方面団第2分団)消防団詰所兼防災倉庫設置 37,003千円



H24九州北部豪雨災害
(馬溪橋周辺)

【期待される効果】

防災倉庫の整備を行うことで、資機材の分散配備を行うとともに、住民に対して日頃から災害の危険性がある地域であるという意識啓発を図ることができる。

③【新規】ハザードマップ作成事業

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
5,533						

【事業の概要】

土砂災害・洪水・津波に関するハザードマップについては、総合的な防災マップとして平成26年に作成をしているが、その後、国・県により被害想定の見直し等が行われており、今回、防災マップの更新作業を行い、新たなマップとして全世帯へ配布を行います。

【期待される効果】

防災マップを活用した、住民それぞれの防災・減災に対する取り組み(自助)の推進が期待できます。



(防災マップイメージ)

④【拡充】無線システム普及支援事業

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
5,827			2,824			

【事業の概要】

防災の観点から、防災拠点(避難所・避難場所、官公署)及び公的拠点(博物館、文化財、自然公園等)における公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備を平成29年度から3か年で整備を行っており、今年が最終年度になります。

(平成31年度整備予定箇所)中津市歴史博物館・避難所・観光スポット等など計7か所

【主な事業費】

無線LAN環境構築委託料(機器費用含む) 5,649千円、ケーブルネットワーク使用料 156千円 ほか



中津市歴史博物館



ふるさと回想館八面山荘



もみじの湯

【期待される効果】

- ・Wi-Fiのメリットとして、災害時には、携帯電話等の通話回線が混雑のために利用できない場合でも、情報収集が可能となります。
- ・ラジオや防災行政無線等の片方向の情報伝達手段と異なり、被災者のニーズに応じた情報収集が可能となります。
- ・通常は、簡単な認証でWi-Fi接続できるため、通信料が無料で中津市内の観光地、グルメ、地図等の情報収集や、旅先の体験をSNSで発信していただけます。

施策(事業)名	子育て2.0プロジェクト
市政推進の基本指針	【安心づくり】子育て2.0のまちづくり

【事業の目的・背景】

中津市は、人口減少を最小限に止めており、一定の社会増があるなど比較的元気なまちという印象がありますが、近年出生数は伸び悩んでおり、もはや人口減少トレンドに入ったと言わざるを得ない状況です。そうした中、今後は子育て支援のソフト対策として、子どもの発達段階や家庭状況に応じてたきめ細かなニーズへの対応など、支援の質の向上が求められます。

そこで、上記のような課題を解決し、従来の子育て支援サービスの一歩先を行ききめ細かな支援を行い、「子育て満足度が高いまち中津」「女性が働きやすく、活躍できるまち中津」の実現に向け、中津市では「子育て2.0プロジェクト」(※参考資料)と題して、関連施策をパッケージ化し取り組みをすすめております。平成31年度は、特に以下の事業について積極的に取り組みます。

①【拡充】子ども医療費助成事業

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
337,063 (99,744)						337,063 (99,744)

※カッコ内は小中学生の通院にかかる助成拡充分

【事業の概要】

平成31年(2019年)7月診療分から小中学生の通院にかかる医療費助成を始めます。小中学生の通院助成を始めるにあたり、更なる子育て世帯の経済的支援と病気の早期発見・早期治療を図ります。

	拡 大 前	拡 大 後
助成対象経費	保険適用の範囲内の医療費	
助成内容	・市内に住所のある就学前の子どもの通院及び入院費 ・市内に住所のある中学生までの子どもの入院費	・市内に住所のある中学生までの全ての子どもの通院及び入院費
自己負担金	・自己負担なし (小中学生の通院については助成対象外)	・小中学生の通院について、同月内で1医療機関1日500円

<助成内容の図表>

区分	就学前児童	小学生	中学生
入院	従来の助成対象	従来の助成対象	従来の助成対象
通院	従来の助成対象	新規助成対象	新規助成対象



②【拡充】予防事業

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
21,583						21,583

【事業の概要】

上記子ども医療の助成拡大と合わせ、子どものインフルエンザ及びおたふくかぜの予防接種の助成を拡充し、予防医療の充実を図ります。

インフルエンザ予防接種(事業費:14,095千円)

対象:生後6か月~中学校3年生まで 助成額:1回接種あたり、1,000円→**2,000円に増額**
接種回数:生後6か月~13歳未満 2回 13歳以上~中学校3年生 1回

おたふくかぜの予防接種(事業費:7,488千円)

対象:生後12月~24月と**新たに小学校就学前1年間** 助成額:上限6,000円
接種回数:生後12月~24月 1回 **就学前 1回**

③【新規】病児保育事業

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
16,655			5,551	5,551		

【事業の概要】

核家族化や共働き家庭の増加に伴う子育て世帯のニーズに応じ、仕事と子育ての両立を支援することで、若い世代が子どもを安心して産み育てられる環境を作ります。

具体的には、保護者が就労等で病気の子どもの自宅を看護できない場合に、小児科に付設された専用スペースで病気の子どもの保育します。

<病児保育施設の概要>

- ・実施施設 : のまさ小児科(市内大字蛸瀬600番地1)
- ・開所時間 : 月曜日～土曜日 8:30～18:00
※木・土曜日は13:00まで(定休日:日曜日・祝日)
- ・開設時期 : 平成31年4月15日(月) ※予定

【主な事業費】

- ・運営費委託料:12,655千円
- ・開設準備経費:4,000千円
(補助率)国費1/3 県費1/3



④【新規】放課後児童健全育成事業(多子世帯助成金)

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
5,540						

【事業の概要】

放課後児童クラブに通う多子世帯に対して保護者負担金を助成します。経済的負担の軽減を図り、複数のお子さんを産み育てることができる環境整備をすすめます。

※幼児教育・保育無償化と併せて2019年10月から実施

<補助率について>

- ・第2子:保護者負担金のうち半額
- ・第3子以降:保護者負担金全額
※運営費相当分のみ対象、上限 3,000円/月
- ※既存の助成金対象者(生活保護・児童扶養手当・就学援助・市民税非課税世帯)に加えて、第2子、第3子以降の子どもを持つ世帯を対象とした助成金として制度を拡充するもの

【主な事業費】

・第2子への半額助成	2,565千円
・第3子以降への全額助成	2,975千円
計	5,540千円



(放課後児童クラブの様子)

《参考資料》

2019年度版 子育て2.0プロジェクト(新規・拡充施策)

現状と課題

- 子育て世帯に対するアンケート結果では、①子ども医療費助成②緊急時のサポート(病児保育施設や一時預かりの利便性など)③多子世帯への支援 を求める声が上位である。
- 遊び場・保育施設などハード整備は整ってきた。今後はソフト面(サービス)の充実が必要。
- 女性の福岡市への転出が顕著であるが、若い女性をターゲットとした施策はあまりない。
- 多様な働き方の選択肢が少ない。雇用のミスマッチも現存。
- 中津の初婚年齢は比較的低い。第3子を儲けたいと考えるか否かには、男性の育児協力の有無が影響を与える。

施策パッケージ

子どもを預けるサービス等の充実

- ・多子世帯に対する児童クラブの減免制度の新設【新規】
- ・ファミサポ制度の活用(出張!まかせて会員事業)【拡充】
→プレイルームや児童館などをファミサポ会員に開放し一時預かりを可能にする。
- ・手続きの簡素化・利便性の向上【拡充】
→おおいた子育てほっとクーポンの手続き窓口に、プレイルーム(土日対応可)などを加え利便性を向上する。
- ・病児保育の開始【新規】

働き方改革・女性の就労支援

- ・在宅ワーカー養成講座 in 中津の実施【新規】
→多様な働き方への対応。県事業で実施予定。
- ・中津市役所働き方改革宣言【新規】
→市が働きやすい(子育てしやすい)職場のモデルとして姿勢を示す取組。産育休暇取得サポートや、男性の育休等取得率・超勤削減率など長期目標数値を設定し公表。
- ・働き方改革実践企業のPR事業【新規】
→働きやすい職場づくりを実践している市内企業を市報等でPR。
- ・男性(もしくは事業所)への啓発事業【拡充】
→働きやすい職場づくり、イクメン・イクボスの養成を目的とした講演会等を実施。

健やかな子どもの成長サポート

- ・子ども医療費助成の拡充【新規】→小中学生の1回あたりの通院費の上限を500円に。同じ医療機関への通院が同月内で5回を超えた部分は無償。
- ・予防医療の充実【拡充】→任意の予防接種の助成拡充、広域連携での取組。
- ・童心児童館の建替え【新規】
→「村上記念童心館」の開設と、近隣施設(図書館・新中津市学校等)との連携。



子育て満足度が高いまち中津
女性が働きやすく、活躍できるまち中津



施策(事業)名	公民連携・政策連携によるにぎわいづくり
市政推進の基本指針	【元気づくり】 公民連携・政策連携によるにぎわいづくり

【事業の背景・目的】

市の積極的な観光施策や今後開催されるラグビーワールドカップ、東京オリンピックに向けて増加する市外及び海外からの観光客の消費喚起を図るため、県、商工団体、金融機関と連携し、小規模事業者を支援します。
 中心市街地の活性化について、商工会議所などの関係機関と連携し、にぎわいづくりに対する事業者の挑戦を支援します。

①【新規】小規模事業者キャッシュレス決済端末導入補助金

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
1,500						

【事業の概要】

飲食店や小売業等の小規模事業者におけるカード・電子マネーの決済端末機の整備に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。

- ・対象者 : 各種商品小売業者、飲食業、宿泊業を営む小規模事業者
- ・対象行為 : クレジットカード、電子マネー決済端末を新しく購入する費用
- ・補助率等 : 補助率2/3 補助限度額 50千円



【主な事業費】

- ・補助金 1,500千円 (50千円×30店舗)



【期待される効果】

増加傾向にある外国人旅行者を含め、国内外の観光客の利便性を向上させ、地域活性化及び消費喚起につなげる。

②【新規】商店街にぎわいづくり支援事業補助金

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
1,500						

【事業の概要】

中心市街地商店街の魅力の向上を図るため、商店街自らが考え、実践する活性化の取組(イベント)を支援する。

- ・対象者 : 商店街振興組合等、中津商工会議所
- ・対象事業 : 商店街振興組合等が実施する新たなイベント事業
(中津商工会議所が事務局となるものを含む)
当該商店街振興組合等の過半数以上の会員が参加する事業
- ・補助率等 : 補助率1/2 補助限度額 300千円



【主な事業費】

- ・補助金 1,500千円 (300千円×5件)

【期待される効果】

商店街の賑わいの創出による商店街の魅力の増加、来街者の増加、個店の売上向上を図る。

施策(事業)名	働き方改革等による中小企業の人材確保と振興
市政推進の基本指針	【元気づくり】働き方改革等による中小企業の人材確保と振興

【事業の背景・目的】

チャレンジする中小企業の活力強化支援として、創業から発展に至るまでの継続支援、ワークライフバランスの充実、女性が活躍できる職場づくり、インターンシップの推進、経営者の意識改革に加え、増加が見込まれる外国人労働者の雇用環境や地域との共生を推進する取り組みを県と連携しながら一体的に進めます。

①【拡充】創業セミナー事業

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
799		400				

【事業の概要】

創業に必要な「経営」「財務」「人材育成」「販路開拓」の4つのスキルが身に付くセミナーを開催し、セミナー終了後も引き続き創業に向けた相談に応じ継続的な支援を行います。

また、創業支援セミナーを4回全て受講した者は、基本的には4つの知識を全て習得できるため、特定創業支援事業を受けた者として認定し、希望者には証明書の発行を行います。

《セミナーの内容》

- ・キックオフイベント、創業セミナー(4回)、ワークショップ(2回)、プレゼン大会(受講者全員)
- ・各回とも2時間程度。毎回セミナー終了後は交流会を開催し、ネットワークを強化



(セミナーの様子)

【主な事業費】

- ・委託料 799千円 (創業セミナー開催の委託料)

②【拡充】女性起業家支援事業

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
1,009		505				

【事業の概要】

複数回のセミナー交流を通じて、事業のステップアップに必要なスキルを習得するとともに女性起業家ネットワークを構築することで新ビジネスの展開を図ります。

《セミナーの内容》

- ・キックオフイベント(1回) セミナー開催に先立ち、掘り起こし・気運醸成を図る。
- ・創業セミナー(3回) ①経営力 ②事業計画 ③コミュニケーション力 等
- ・ワークショップ(3回) 平成30年度受講者を講師とするワークショップを開催
- 各回とも2時間程度セミナーを実施、終了後には毎回交流会を開催し、ネットワークを強化

【主な事業費】

- ・委託料 966千円 (女性起業家ネットワーク交流会(セミナー)開催の委託料)
- ・使用料・賃借料 43千円 (開催会場を教育福祉センターで予定。会場・空調等使用料)

【期待される効果】

- ・女性起業家の創出、事業拡大による雇用創出
- ・「女性が活躍できるまち中津」を確立することによるUIターン者の増加



(セミナーの様子)

③【新規】外国人労働者受入支援事業

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
292			146			

【事業の概要】

①ベトナム実習生向け日本語教室

ベトナム人を中心とした初期日本語教室を開催し、日本語及び日本の文化を学ぶ人材育成を行うとともに、外国人就労者の声を聞くことで実態把握を行う。

- ・年間6回 1回90分
- ・定員:20名程度

②事業所向けベトナム語教室

外国人就労者が活躍できる職場環境への改善のため、ベトナムの実習生を受け入れている若しくは、興味のある事業所向けに、ベトナムの文化・言葉を学ぶためのベトナム語教室を開催。

- ・年間12回 1回60分
- ・定員20名程度

※講師は豊後高田市が官民共同で行っている事業協同組合に委託



(教室の様子)

【主な事業費】

- ・委託料 262千円 (日本語教室 6回、ベトナム語教室 12回)
- ・施設借上料 30千円

④【新規】みんなにやさしい多言語化推進事業

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
495						

【事業の概要】

近年増加している市内の外国人居住者に向けて、市役所から発信する情報をダイレクトに伝えるために、市報などの情報紙を多言語に翻訳することができる情報発信ツールを新たに導入します。このツールは、日本語以外に9か国語(英語、韓国語、中国語(簡体字、繁体字)、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語)に対応しています。

利用者は、専用アプリをスマートフォンなどにインストールするか、パソコンのブラウザでも見ることができます。



(多言語ツールのイメージ)

【主な事業費】

- ・多言語対応情報発信ツール利用料 495千円

【期待される効果】

日本語以外に9か国語に対応しているため、市内の外国人居住者の多くをカバーでき、市政情報の発信力強化に繋がります。

まずは市報の配信からスタートし、今後は生活情報や観光パンフレットなども配信することを検討しています。

施策(事業)名	子どもの可能性を拓げる教育
市政推進の基本指針	【未来づくり】子どもの可能性を拓げる教育

【事業の目的・背景】

「自立する力を育み、社会で活躍できる子どもの育成」をめざし、知・徳・体をバランスよく育むとともに、子どもたちの将来の夢や自己実現に向けて欠かすことのできない学力向上に向けて、教育内容・教育環境の充実、教職員の指導力向上を図っています。

グローバル化の進展や人工知能(AI)の急速な進化など、社会の変化が加速度的に進んでいること等を受け、子どもたちが主体的に学び、多様な仲間と協働して解決する力や学んだことを社会で活用する力、生涯にわたって学び続ける力を育むため、平成31年度は以下の事業に取り組んでいきます。

①【拡充】学びに向かう中津っ子支援事業

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
10,439						

【事業の概要】

授業よりやや高い学びにチャレンジすることによって、知識・技能の習得や、未知の状況に対応する思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養を目指します。

具体的には、基礎基本を活用した問題や復習問題などの集中的な学び直し期間の設定、英語体験の拡大、英検等への挑戦、夢を実現につなげる学びの場を提供し、学びに向かう力・グローバル人材等の育成を目指します。

(事業内容)

■ 学びのススメ塾(補充学習支援)

全学校を対象に、活用問題を一定期間(2学期始めと年度末を予定)を集中して指導することを通して、児童生徒の課題を把握し、学力の向上と指導や事業改善に活かします。

■ 学びのススメ英検塾

中学生を対象に、卒業までに英検3級取得を目的とした放課後補充学習を実施します。これからの時代に必要な英語の資格を取得することを目指して学習することにより、英語の基礎・基本の語彙力をつけるとともに、より実用的なコミュニケーション能力を高めることができます。(全中学校:各校週1回)

■ ジュニアグローバルリーダー研修

中学生(10名)を対象に海外の現地校への短期留学を行い、英語力、コミュニケーション能力の育成をはじめ、異文化交流を通じて、グローバルリーダーの育成を行います。



■ APU English Camp事業【新規】

グローバル人材育成のため「APU English Camp」(2泊3日)をAPU立命館アジア太平洋大学で実施します。市内の中学生15名と中津市ALTがAPUを訪問し、宿泊研修を行います。

■ イングリッシュスクール【新規】

新中津市学校を会場に、ALTを活用し、中学生向け英会話スクール、小学校教師向けクラスルームイングリッシュ講座を実施します。また、継続して英語弁論大会(県大会中津市予選)を実施します。

■ 英語モデル校の設置【拡充】

新学習指導要領の対応として、小学校1校(継続)、中学校1校(新規)をモデル校として指定し、市内英語教員の授業力・指導力の向上および指導案などの共有を図ります。また中学校モデル校においては、民間検定の「GTEC」を導入し、生徒の意欲・教師の授業改善等に活かすとともに、今後の高校入試対策や英検からの移行を検証します。



②【拡充】学力向上学習補助員設置事業

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
28,113			1,254			

指導方法の工夫改善に努める学校でのTT指導、複式学級の一部解消のための学習支援、一斉学習における日本語の個別指導、学級規模の状況により特に学力状況や学習面の困難が認められる場合など、効果的に児童生徒の学力向上を図るための学習支援を行います。(20名配置:6名増)
 なお、うち10名については、単独で授業を行うことができる(教員の指示を必要としない)学習補助員の配置を行います。



③【拡充】特別支援教育補助員設置事業

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
77,487						

【事業の概要】

幼稚園、小学校、中学校に在籍する障がい(発達障がいを含む)のある子どもたちに対して、学校生活や学習場面において、その子の特性に応じた補助的支援を行います。(62名配置)
 また障がいのある園児の長期休業期間中の預かり保育利用が増加傾向にあるため、今まで配置がなかった長期休業期間中にも教育補助員を配置します。

④【新規】子どもまちづくりラボ事業

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
1,116						

【事業の概要】

市内全小学校6年生を対象に旧城下町エリアの歴史・文化施設を歩いて巡る「まちなみ歴史探検」を更に発展させ、平成31年に開館する中津市歴史博物館を活用し、子どもたちが中津の歴史・産業・観光・まちづくり等を学び、中津のことを知り考え好きになる「ふるさと教育」をすすめます。またEducator(歴史博物館専門員)が、授業と博物館とまちづくりをつなぎ、子どもたちにとってやってみたい体験学習をすすめます。

⑤【拡充】小中学校パソコン導入事業

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
140,296						

新学習指導要領において、情報活用能力は言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられ、全教科においてもICTを活用することで、子どもたちの学習への興味関心を高め、わかりやすい授業や「主体的・対話的で深い学び」の実現、個に応じた教育を図ることとされています。

コンピューター教室のパソコンについて、現在のデスクトップ型から持ち運びが可能なタブレット型に更新し、子どもたちが毎日の授業の中でICTを活用できる環境を整備します。

また、新たに教師用タブレットを導入し、文字だけではなく写真や動画を活用したり画面への書き込みを行う等の分かりやすい説明を行うことにより、子どもたちの興味・関心を高め、思考を深める授業を実施します。



施策(事業)名	山国川の上下流域を結ぶ観光振興
市政推進の基本指針	【元気づくり】山国川の上下流域を結ぶ観光振興

【事業の目的・背景】

中津市では、市内全域を流れる山国川の上下流域が一体となった観光振興を推進しています。平成31年度はラグビーワールドカップ大分開催、さらには東京オリンピック・パラリンピック開催にあわせたインバウンド対策を強化するとともに、旧下毛地区を中心に「体験型観光」を推進します。

また、メイプル耶馬サイクリングロードの活性化では、サイクルツーリズム友好都市である台中市との交流を深めるとともに、引き続きPRを強化し誘客を図ります。

①【新規】農家民泊推進事業、観光ガイド育成事業

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
719						719

【事業の概要】

・ **農家民泊推進事業**

観光客の滞在時間延長につながる「体験型観光」を推進するため、農家民泊の先進地から講師を招いて農業者向けの講演会を開催し、耶馬溪地域における農家民泊の拡大を図ります。

・ **観光ガイド育成事業**

観光産業の活性化と持続性のある地域づくりを推進するため、観光ガイドの接遇力向上のための研修会を開催します。



(農家民泊)



(観光事業者向け研修会)

②【拡充】インバウンド対策事業

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
10,582		3,436			593	6,553

【事業の概要】

・ **海外商談会の取組み**

訪日外国人の誘客を推進するため、韓国、台湾に加えて中国・上海での海外商談会で中津市の魅力を発信し、現地旅行会社のツアー企画に盛り込むよう提案・PRを行います。

・ **観光パンフレットの多言語化**

平成30年度の英語・韓国語版に続き、中津観光の総合情報パンフレット「るるぶ中津耶馬溪」の中国語(繁体字)版を作成し、中津に訪れる外国人観光客へ観光情報を提供します。

・ **中津の魅力を海外へ発信**

中津の魅力を集めた動画を作成し、韓国、中国、台湾を中心にマスメディアより発信力が高いと言われているフェイスブックやインスタ、ブログ等といったSNSでの広告を展開します。



(中国語観光パンフレット)



(パワーブロッガーによるブログ)

③メイプル耶馬サイクリングロード活性化事業

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
5,973			1,689			

【事業の概要】

- ・ 全線復旧記念サイクルイベントの開催

平成24年「九州北部豪雨災害」等により損傷を受けた第四山国橋の架け替え工事が終了し、全線開通することを記念してサイクルイベントを開催します。

- ・ サイクルガイドの養成

現在サイクルガイド候補者を養成しています。今年度は、研修や講習会への参加によりレベルアップを図り、サイクリングロードの活性化に貢献できる人材を育成します。

- ・ サイクルツーリズム友好都市台中市との交流

サイクルツーリズムが盛んな台中市との交流を深め、観光PRを行い、サイクリングロードへの誘客を図ります。



【主な事業費】

- ・ 全線復旧記念サイクルイベント 864千円
- ・ サイクルガイドの養成 408千円
- ・ サイクルツーリズム友好都市台中市との交流 451千円

④道の駅耶馬トピア整備事業

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
124,278					122,200	

【事業の概要】

中津日田高規格道路「青の洞門・羅漢寺IC」の開設を見据えて、来場者の増加が見込まれる「道の駅耶馬トピア」の駐車場等を拡張して整備します。さらに、メイプル耶馬サイクリングロードを機軸としたサイクルツーリズムの推進施設としてレンタサイクル施設を設置します。



【整備内容(予定)】

- ・ 駐車場整備 7,400㎡
 駐車場台数 普通車61台→89台 大型車5台→5台 障害者用2台→3台
 プラスワン0台→3台 EVスタンド2台 自動二輪10台
- ・ 休憩所新築(休憩所、自転車保管所 ほか) 113㎡

施策(事業)名	誰もが生き生きと暮らせるまちづくり・「安心」で繋ぐ地域づくり
市政推進の基本指針	【安心づくり】 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり・「安心」で繋ぐ地域づくり

【事業の背景・目的】

生活困窮者及び被生活保護者の自立促進や、障がいのある方のコミュニケーション支援等について、平成31年度は以下の事業について取り組みます。

①【新規】生活困窮者及び被生活保護者就労支援事業

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
13,074		8,911				4,163

【事業の概要】

生活困窮者及び被生活保護者の早期自立促進のため就労支援員を新たに配置し、就労に関する相談受け付け、ハローワークや社会福祉協議会等関係機関との連携、支援対象者へのアセスメント、企業の受入れ調整等、就労に向けた支援を行います。

【主な事業費】

- ・生活困窮者自立支援事業委託料 10,722千円
 - ・被生活保護者就労支援員報酬 2,160千円
 - ・その他事務費等 192千円
- (補助率:国庫支出金(生活困窮者分)2/3
国庫支出金(被生活保護者分)3/4)

【関係機関】

- ・ハローワーク
- ・社会福祉協議会 等

【行政】

- ・相談受付
- ・連携、調整 等



早期の自立

【民間企業】

- ・対象者の受入れ
- ・使用期間中のフォロー

【期待される効果】

生活困窮者については生活保護費の受給開始前での自立、被生活保護者については早期の自立を促すことで、増加傾向にある社会福祉関連経費を軽減します。
加えて、民間企業の労働力確保の一助となることも期待されます。

②【拡充】手話・点字講習会等開催助成事業

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
1,650		825	412			413

【事業の概要】

聴覚障がい者や視覚障がい者の情報支援のため、手話・要約筆記・点字等のボランティアの育成及びスキルアップを目的に事業を拡充します。平成31年度においては新規に手話奉仕員実践講座を開催します。

【主な事業費】

- ・手話奉仕員養成講座委託料 706千円
 - ・【新規】手話奉仕員実践講座委託料 151千円
 - ・点字ボランティア養成講座委託料 299千円
 - ・要約筆記奉仕員養成事業委託料 440千円
- ほか事務費等
(補助率:国庫支出金1/2、県支出金1/4)



【期待される効果】

養成講座によるコミュニケーション支援のためのボランティア人材の確保・育成及び実践講座によるスキルアップを図ることで、障がい者のコミュニケーション支援の充実を図ります。

③【新規】ボランティア活動支援事業

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
488			244	122		

【事業内容】

市で実施している手話講習会等の講座後、多くの受講者は実践スキルを身につけるべく手話サークル等のボランティア団体にて研鑽を積んでいます。

市では、こうした各種講座の受皿となっているボランティア団体に対して、ボランティア人材・確保及び育成を目的に、スキルアップのための勉強会・講習会開催に係る経費や、活動に必要な用具等購入経費の一部を補助します。

【主な事業費】

- ・ボランティア活動支援補助金 488千円
(補助率:国庫支出金 1/2、県支出金 1/4)

＜補助対象団体＞

- ・中津手話サークル「さつき」
- ・中津手話サークル「さつき」昼
- ・要約筆記まなざし
- ・アイメイト中津きさらぎ会



【期待される効果】

ボランティア人材の確保及び育成を図るとともに、各ボランティア団体が必要とする内容の勉強会・講習会を開催することで、より高い技術を持つボランティアの育成が期待できます。

④【新規】障がい者芸術文化活動振興事業

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
185			92	46		

【事業内容】

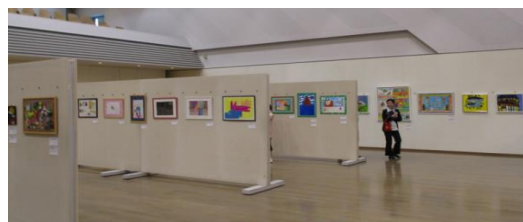
平成30年10月～11月の全国障がい者芸術・文化祭にて開催し、反響の大きかった「障がい者アート作品展」、「障がい者ふれあいコンサート」について、平成31年度も引き続き開催します。

【主な事業費】

＜障がい者アート作品展＞

- ・障がい者アート作品展委託料 106千円
- ・消耗品等事務費 41千円
(補助率:国庫支出金1/2、県支出金1/4)

※全国障がい者芸術・文化祭時と同程度(約120点のアート作品展示)の規模を想定



(全国障がい者芸術・文化祭での作品展の様子)

＜障がい者ふれあいコンサート＞

- ・会場借上料 4千円
- ・消耗品等事務費 34千円
(補助率:国庫支出金1/2、県支出金1/4)

※障がい者による歌やダンス、音楽などの発表会



(全国障がい者芸術・文化祭での発表の様子)

【期待される効果】

芸術・文化活動を通して障がい者と健常者の親睦交流を図るとともに、障がい者の創作意欲の向上等も図ることで、障がい者の豊かで充実した生活の一助となります。

施策(事業)名	看護師確保対策
総合計画施策の大綱	【安心づくり】地域医療の確立

【事業の背景・目的】

中津市では、看護師の都市部流出などにより看護師不足が懸念され、安定的な地域医療体制の確保のため看護師確保対策が必要となっています。

市内唯一の看護師養成機関である「中津ファビオラ看護学校」では学生を確保するため、就学支援の取り組みを行っています。

そこで、市としましては、安定的な地域医療体制の確保、市内医療機関の看護師不足の解消及び市内定住の促進を図るため、学生の市内医療機関への就職を条件に、「中津ファビオラ看護学校」が行う学生への就学支援策に対し支援を行います。

【新規】看護師確保対策補助金

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
3,000						

【事業の概要】

補助対象 : 一般社団法人中津市医師会 中津ファビオラ看護学校

補助対象経費 : 看護学科の入学時に一括払いする経費(1人当たり60万円)

補助率 : 1/2

補助金額 : 300万円

返還義務規定 : 貸付した学生が中津ファビオラ看護学校奨学金貸与要綱に記載する。
返還要件に該当した場合は、市に当該補助金を返還するものとする。

【主な事業費】

貸付希望予定者数 10人

補助金額 $60万円 \times 1/2 \times 10人 = 3,000,000円$



【期待される効果】

中津ファビオラ看護学校が優秀な看護師を育成し、看護師資格取得後に市内医療機関に就職していただくことで、市内医療機関における看護師不足の解消を図ることができ、定住・移住につながるものと考えています。

施策(事業)名	ごみの資源化推進
市政推進の基本指針	【未来づくり】「環境共生都市なかつ」の推進

【事業の目的・背景】□

6K(共生、きれい、快適、教育、継承、協働)を基にした、「環境共生都市なかつ」の実現のため、ごみの減量・資源化、埋立量削減による埋立処分場の延命化を行い、循環型社会の構築を図ります。加えて、「草類の堆肥化」及び残渣の「セメント原料化」により資源化率(リサイクル率)20%の達成を目指します。

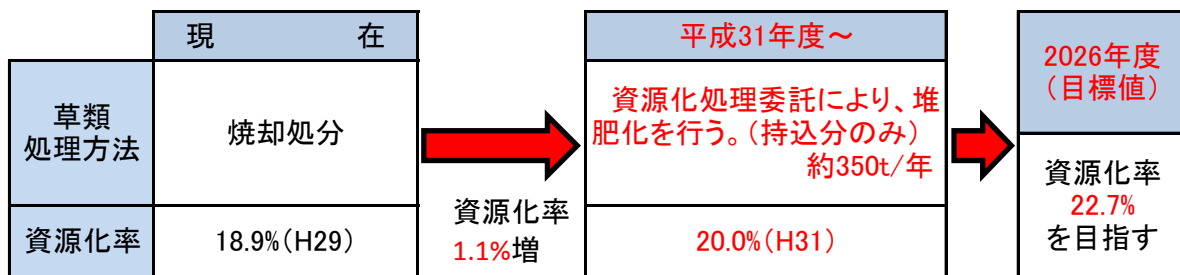
①【新規】草類資源化処理事業

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
4,886						4,886

【事業の概要】

- ・中津市クリーンプラザへ自己搬入された草類をストックし、乾燥後、民間の施設にて堆肥化処理
- ・搬入想定量:約500t/年間⇒乾燥▲30%⇒堆肥化処理量:約350t/年間
- ・資源化率(目標)平成29年度=18.9%⇒プラス1.1%⇒2019年度20.0% 事業費:4,886千円/年間



【期待される効果】

- ・草類堆肥化処理により、資源化率が18.9%(H29)→20.0%(H31)となり、1.1%の向上が期待される。
- ・焼却処分しないことから、CO2排出量が減少し、循環型社会への推進に繋がる。
- ・市民の循環型社会形成への意識改革が期待される。

②【新規】リサイクル残渣・焼却残渣資源化処理事業

(単位:千円)

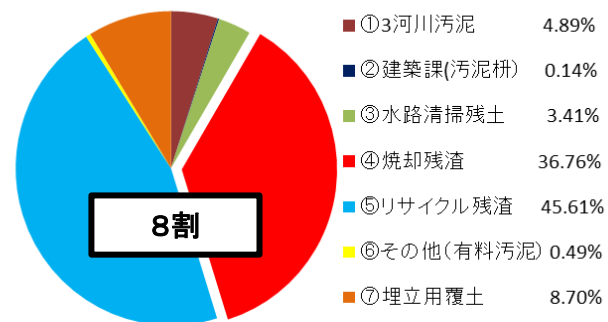
予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
22,972						22,972

【事業の概要】

埋立量の約8割を占めているリサイクル残渣・焼却残渣を、セメント原料とすることで資源化処理を行います。
※平成31年度埋立予定量の50%を資源化予定

- ・リサイクル残渣(予定処理量 約400t/年)
粗大ごみや不燃物の処理時に出る木やプラスチック、ガラスや陶器などのくず
- ・焼却残渣(予定処理量 約340t/年)
可燃物の焼却時、炉の底に溜まる残渣

平成25～29年度埋立容積比率
8516.71(m³)



【期待される効果】

従来埋め立てていた残渣を資源化処理することで、大幅に埋立量の削減が可能となります。現在行っている飛灰の処理と合わせ、2044年度まで埋立処分場を延命化することができます。

施策(事業)名	中津市歴史博物館運営事業・新中津市学校運営事業
市政推進の基本指針	【未来づくり】 中心市街地における「学び」と「交流」を生むまちづくり

【事業の目的・背景】

中津市歴史民俗資料館は築80年経過し、老朽化や耐震性が不十分であり、もともと図書館として建築された建物のため文化財を保管する資料館として不適合であることから、中津市の貴重な文化財の収集・保存・活用のために新たに「中津市歴史博物館」を開館します。
 また国の登録有形文化財である中津市歴史民俗資料館は建物の改修工事を行い、新たに「新中津市学校」として、学生や一般市民の勉学や交流を行う施設として、リニューアルして開館します。
 今後は中心市街地において、旧城下町の史跡を巡る観光ルートの拠点や周辺の点在する施設を総合的に結びつけ、各施設の特徴を活かして、幅広い年代や様々な分野での学びや活動の機会創出を図り、人が集い、交流が生まれることによって興る活気あるまちづくりを公民連携で進めていきます。

①【新規】中津市歴史博物館運営事業

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
50,958					2,755	48,203

【施設の概要】

- ・名称 : 中津市歴史博物館
- ・場所 : 中津市三ノ丁
- ・開館時間 : 9:00～17:00
- ・休館日 : 毎週月曜日・年末年始(12月29日～翌年1月3日)
- ・入館料 : 一般300円、団体(20名以上)100円
※中学生以下無料
- ・施設概要 : 鉄筋コンクリート造3階建て(延床面積:2,687㎡)
1階…市民ギャラリー、展示室及び多目的室
2・3階…収蔵庫および事務室
- ・開館予定 : 平成31年秋

【期待される効果】

今まで中津市歴史民俗資料館が担っていた中津市の貴重な文化財を収集・保存・活用する機能を、今後は中津市歴史博物館が継承します。
 また市内の小中学校と連携して中津市の歴史や産業・観光・まちづくり等をふるさと教育の一環として子ども達が学ぶ場としての活用や、旧城下町エリアの観光拠点のひとつとして周辺施設との連携を図り、人が集い交流が生まれ、中津の活気あるまちづくりの実現に繋がると期待されます。



外観



内部俯瞰

【中津市歴史博物館運営費】

- ・運営事業費 : 27,367千円
- ・イベント経費 : 9,524千円
- ・初期費用 : 14,067千円 (※オープニングイベント代、備品購入費・消耗品費等)

②【新規】新中津市学校運営事業費

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
30,028						75

【施設の概要】

- ・名称 : 新中津市学校
- ・場所 : 中津市殿町(旧: 中津市歴史民俗資料館)
- ・開館時間: 9:00~19:00
※2階集会室の一般利用は21:00まで
- ・休館日: 毎週月曜日・年末年始(12月29日~翌年1月3日)
- ・使用料: 2階集会室の一般利用 1時間1,080円(冷暖房使用料を除く)
- ・施設概要: 木造2階建て(床延面積575㎡) ※収蔵庫は鉄筋コンクリート造3階建て
1階…学習交流スペース、授乳室、トイレ
2階…集会室(予約制)
- ・開館予定: 平成31年夏

※1階の学習交流スペースは学生や社会人など市民の学習・交流の場として開放し、
2階の集会室は各種の講座や講演、または一般市民への貸しスペースとして運用します。

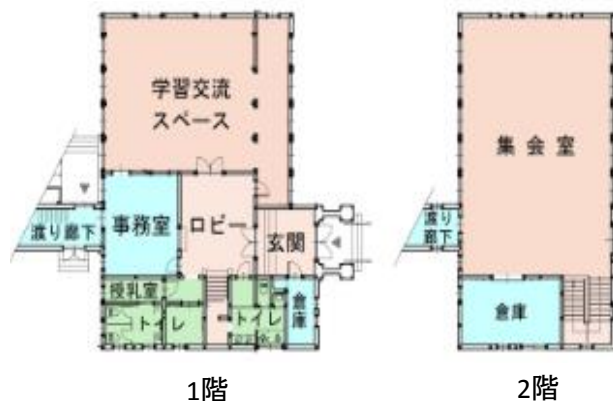
【期待される効果】

今夏に「新中津市学校」を開設します。本施設は市民の仕事や学習など多様な教育の場を提供する施設であり、中津の偉人である福澤諭吉や小幡篤次郎のゆかりの地中津として慶應義塾大学との連携を強化し、共同研究や市民講座など福澤研究の拠点としての機能を担います。

更に、新設する中津市歴史博物館と村上記念児童館や他の周辺施設と連携し、幅広い年代や様々な分野で市民が集い、ともに活動を行うことで、新たなまちづくりや郷土愛を育む機会を提供します。



内部見取り図



【新中津市学校運営費】

- ・運営事業費: 14,514千円
- ・イベント経費: 60千円
- ・初期費用: 15,454千円(オープニングイベント代、備品購入費・消耗品費等)

施策(事業)名	村上記念童心館運営事業
総合計画施策の大綱	【安心づくり】子育て2.0のまちづくり

【事業の背景・目的】

現在、中津市では、第五次総合計画で、「みんなが子育てしたくなるまち」、「出生率2.0のまち」を目標に、一歩進んだ子育て環境づくりに取り組んでいます。

そういった中、平成27年10月に民間団体から移譲後、建替工事を実施し、平成31年度に開館する当施設では、従来の児童館の主な利用者層である未就学児親子や小学生に加え、中学生や高校生までが自由に利用できる、そして、誰もが行きたくなる児童館づくりを目指し、運営を行います。

【新規】村上記念童心館運営事業

(単位:千円)

予算額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	市負担
14,025		2,650	2,650		34	8,691

【施設の概要】

- ・開館年月:平成31年4月
- ・対象年齢:0歳～18歳
- ・利用料:無料 ※スタジオの一般利用については有料
- ・開所時間:平日9:30～20:00、土日祝8:30～18:00
- ・閉所日:毎週木曜日・年末年始(12月29日～1月3日)
- ・施設概要:鉄骨2階建て(延床面積575.9㎡)
1階…プレイルーム、子育て支援センター、相談室、授乳室、トイレ等
2階…多目的室、ランチスペース、音楽スタジオ、トイレ等

【期待される効果】

市の子育て支援の拠点施設として整備し運営することで、子どもの居場所と保護者同士の活動の場を確保し、市全体の子育て支援機能や子育て環境の充実を図ります。

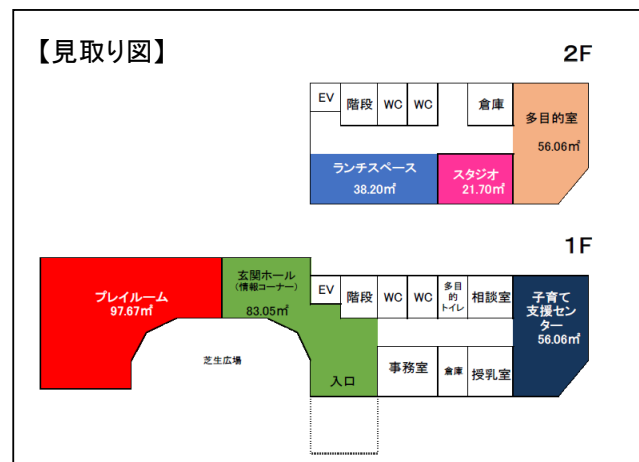
また、音楽スタジオやダンスルームを設け、中・高校生の自主的な活動の場を提供し、健全育成を図ります。更には、中津市歴史博物館や新中津市学校等と連携し、子育てを通して“自然と”文化に触れ、郷土愛を育む機会を提供します。

以上の観点より、誰もが行きたくなる児童館を目指し、「みんなが子育てしたくなるまち」の実現に繋がると期待されます。



(村上記念童心館 外観)

【見取り図】



【村上記念童心館事業費】

- ・管理運営費:12,189千円
- ・イベント経費:200千円 ※H31年度はオープニングイベント分20千円を含む
- ・ほか事務費等:1,636千円 ※初年度調達分の備品等100千円含む

《MEMO》

A series of horizontal dashed lines for writing.